



發送
番号

第

號

明治 年 八月 六 日 判決

明治 年 月 日 取扱

淨寫校合

明治 元年 八月 六 日



庶務課



件
銘

外國教師僱聘ノ義ニ付
取書
部長、田谷之件

議案蜀紙

小樽高等商業學校

案

今般外國教師二名僱聘ノ件ニ
付稟請候委本月二日付取書
丙第九九号ヲ以テ示信意ノ事項
夫取調了承右ハ第一項第二項及
第三項共ニ御内示ノ通訂正書第
四項ニ関シテハ本校授業上ノ都合ニ
テ字年始下致し置リ方便互ニ付。
申上トス冬酌し第三條ニ於テノ
訂正ノ日ヨリノ六字ヲ加、訂正書

可相成右様ニ示行
可相程度尤限
示要契約期間
者檢前様ニ示
有様ニ由リ其
同ニ示行

更ニ本件候間可成取計相成
度申候及御答候也
追テ本件ハ人選上築込ノ日子
ヲ要候茶至急取遣申候事
ル候事

年月日

校長

秘書部長 〇〇

小樽高等商業學校

之明治四十五年七月九日付上申書に添付せし契約書ニシテ
其際ニ添付せし契約書又ニ田中君

小樽高等商業學校校長某トノ間ニ於テ次ノ契
約ヲ締結ス

第一條 明治四十六年四月一日(一九一三年)

四月一日以降滿三箇年間小樽高等商

業學校ニ於テ高品及高品実驗ノ教師

トシテ其ノ傭費ス

第二條 某ハ本國ヨリ日本小樽ニ至ル間ノ

旅費トシテ金九百七拾五円ヲ受領ス(一)

第三條 某ハ傭給トシテ毎月末ニ一箇

月金四百円某其同額ヲ受領ス(一)

但勤務日数一箇月未滿ナルトキハ其傭給ハ

勤務セル日割ノ計算ヲ以テ支給セラルヘシ

第四條 某ハ授業時間數及時間割授

業方針其他總テ學校ニ關スル事項ニ

就テ該學校長ノ指揮ヲ受ケル但某ハ

授業時間毎週二十四時間ヲ超エ又ハ

日曜ニ執務ヲ命ゼラルコトナカルヘシ

第五條 某ハ其ノ所持學科其他學校ニ

關係スル事項ニ就テ其意見ヲ提出スル

コトヲ得但採否ハ當該學校長ノ權

限ニ屬ス

第六條 某ハ該學校ノ規則ニ違反シ又ハ

當該學校ノ利益ト矛盾スル行動ヲ為シ

或ハ其ノ師トシテノ名譽ヲ汚辱シ又ハ第

一條ニ於テ規定セラレタル學科ヲ教授スル

及手當金
額カ括弧

ルイ、フエー、
フラインク

小樽高等商業學校

契約解除ノ當日ニ至ルマテノ俸給日割
計算ヲ以テスル支給以外ノ請求ヲ為ス
コトヲ得ス

第十條 本契約、各箇條ヲ履行シタル
後及本契約満期ニ至リタル時其カ備
達トナラサル場合又ハ其カ第七條第二
次或ハ第九條第一項ノ事情ノ下ニ其職
ヲ辞スルトキハ其ハ帰國旅費トシテ金
九百七拾五圓ヲ支給セラルニシ

第十一條 本契約期間満了ノ後若シ
學校カ本契約ヲ継続セシトシ希
望スルトキハ契約満期六十日前ニ其
意思ヲ其ニ表明スルニ

小樽高等商業學校

後日、為ノ当事者双方共、契約
書ニ署名ス

明治二十一年三月三日（カ行ニ於テ）
大正 校長 〇〇〇

西曆一九百二十一年三月三十一日

〇〇〇

第百一十條

小樽高等商業學校校長某ト某トノ間ニ於テ次ノ
契約ヲ締結ス

第一條 明治四十六年四月一日(千九百一十三年四

月一日)以降滿三箇年間少於高木高等商業

學校ニ於テ英國語教員トシテ甘ホヲ

傭取ス

第二條 某ハ本國ヨリ日本少於ニ至ル間ノ

旅費トシテ金九百七拾五圓ヲ受領ス(一)

第三條 某ハ俸給トシテ毎月末ニ一箇

月金三百圓及手當五拾圓ヲ受領

ス(一)

但勤務日數一箇月未滿ナルハ其ハ

小樽高等商業學校

俸給ハ勤務セリ日割ノ計算ヲ以テ支

給ス(一)

第四條 某ハ授業時間數及対面新

授業方針其他該テ學校ニ關スル事

項ニ就テハ該學校長ノ指揮ヲ受ク(一)

但某ハ授業時間毎週二十四時間ヲ

超正又ハ日曜ニ勤務ヲ命セラズ(一)

ナル(一)

第五條 某ハ其受村學校其他學校ニ關

係スル事項ニ就テ其意見ヲ提出ス

ルコトヲ得但採否ハ尙該學校長ノ

権限ニ屬ス

第六條 某ハ學校ノ規則ニ違反シ又ハ

当該学校ノ利益ト矛盾スル行動ヲナシ
或ハ其ノ脚トシテノ名譽ヲ汚辱シ又ハ其
一條ニ於テ規定セラレタル学科ヲ及ぼす
能中ナキコト明カナル時ハ当該学校長ハ本
契約ヲ解除スル権利ヲ有ス

第七条 其ハ病氣若クハ不可抗力ノ
事情ニ依リ三十日間引續其義務ヲ
履行シ能ハサル場合ハ右期間終了後
其病氣又ハ事情連續スル期間ハ其
三条ノ規定ニ由リ俸給ノ半額ノミヲ
受給スルニシ

前項ニ規定セラレタル同一原因ニ依リテ
其カ六十日ヲ経ルモ其就職シ能ハサルトキハ
当該学校長ハ本契約ヲ解除スル権利
ヲ有ス

小樽高等商業学校

第八条 契約当事者ノ一方カ本契約ヲ
解除セントコトヲ希望スルトキハ第一条ニ
規定セル契約期間ノ終了前トモ三
箇月前ニ他ノ一方ニ其希望ヲ豫告
スルトキハ随時本契約ヲ解除スルコトヲ得
第九条 右契約解除中当該学校ノ
意思ニ依リテ其ハ其ハ本契約解除ノ望
日ヨリ起算シ俸給三箇月分ニ相当ス
ル金額ヲ受給スルニ若シ解除ノトキカ
契約終了ノ後三箇月以内ナルトキハ本
契約ノ解除期間ノ俸給ニ相当スル金額

ノコトヲ支給セラルルモノトス

契約解除カ其ノ意志ニ及スルトキハ其
ハ四軍ニ第ニ条第ニ次ノ規定ニテノ契約
解除ノ当日ニ至ルニテノ俸給日割計算
ヲ以テスル支給以外ノ請求ヲ為スモノト
得ス

第十條 本契約各箇条ヲ履行シタル
後及本契約満期ニ至リタル時其ノ備
達トナラサル場合又ハ其カ第ニ条第ニ次
或ハ第ニ条第ニ次ノ事情ノ下ニ其
職ヲ辞スルトキハ其ハ帰國旅費トシテ
金九百七拾五圓ヲ支給セラルルニシ

小樽高等商業學校

授カる本契約ヲ連続セシメトシテ希望
スルトキハ契約満期ノ十日前ニ其意志
志ヲ其ニ表明スルニシ
後日ノ為ノ多事者双方以テ契約書ニ
署名スル

明治 〇年 〇月 〇日 (中略)

校長 〇名

西曆 〇年 〇月 〇日

甘本

養



文 部 省

秘書省丙第九九號

變第百三十三號

庶務課長



小樽高等商業學校長

本年八月六日付庶發第四二六號伺其校教師ト

シテ英語ヲ擔任スヘキ英國人一名並商品學及

商品實驗ヲ擔任スヘキ獨逸人一名各傭入ノ件

許可ス

大正元年八月二十三日

文部大臣長谷場純孝

